

# 災害への備えと行動

神戸市のハザードマップは  
WEBサイトで確認できます!



## 日頃の備え

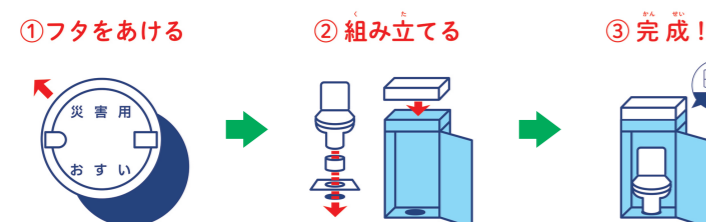
### ローリングストックで備えよう

ふだん食べている食品を少し多めに買い、食べたら新しいものに入れかえる方法です。災害時、アレルギー対応食品は特に入手が難しいため、事前に準備しましょう。



### 災害時こまらんとイレ!

マンホール上に上屋とポータブル便器を組み立てることで、災害時でも衛生的に利用できる災害用仮設トイレです。市内58か所の学校、公園に設置しています。



### 防災訓練に参加しよう

阪神・淡路大震災から31年、来たるべき災害からご自身、ご家族のいのちを守るために、できることから取り組んでみませんか?



### 防災福祉コミュニティ

神戸市には、災害に備えた地域の助け合いの取組みである自主防災組織(通称:防災福祉コミュニティ)があり、訓練や研修などに取り組んでいます。

## 災害発生のおそれ

### 台風・大雨のとき

台風の接近、大雨の恐れ



### 地震・津波のとき

地震発生・緊急地震速報



まずは命を守る行動を!

## 情報収集



※放送内容は電話でも確認できます。078-322-5100

### 神戸市リアルタイム防災情報

気象情報、避難情報に関することなど、災害時に見るべき内容をまとめて分かりやすくリアルタイム発信! 行政区ごとにも見られます。



災害時にはまずアクセス!

### ひょうご防災ネット

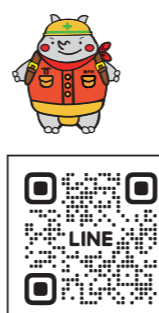
災害・防災情報を提供するサービスです。メール版とアプリ版があります。



登録はこちら

### 神戸市災害掲示板

「大雨で道が冠水」「倒木で道が通れない」など、災害時の身のまわりの状況を投稿・確認できる情報共有のLINEアカウントです。



## 避難

土砂災害警戒区域・洪水浸水想定区域にいる

避難情報を確認

避難情報

警戒レベル3  
高齢者等避難  
避難に時間のかかる方は避難

警戒レベル4  
避難指示  
危険な場所から全員避難

警戒レベル5  
緊急安全確保  
命を守る最善の行動を

避難の方法

①立ち退き避難  
安全な場所に避難

②屋内で安全に過ごす

上階への避難や高層階に留まること等により計画的に身の安全を確認

詳しい避難の  
タイミング・方法を  
確認できます!



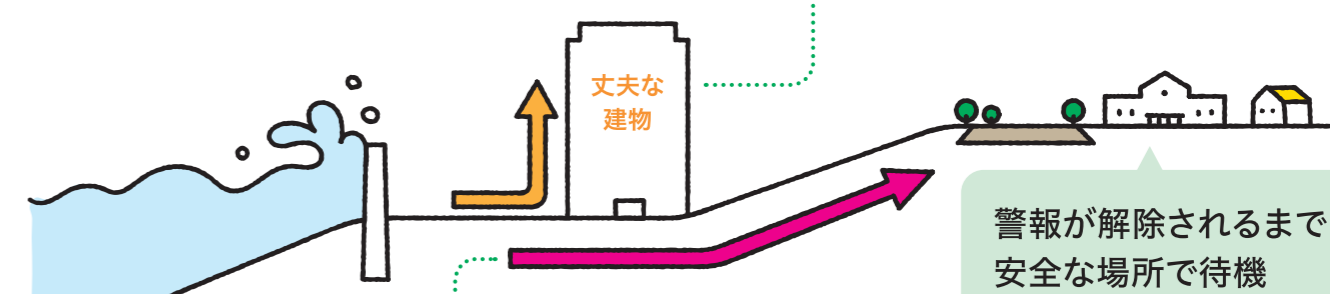
外出はひかえる。  
がけや河川・水路・海岸に絶対近づかない。

河川モニタリングカメラ

神戸市内の22河川(30カ所)の現状の映像をリアルタイムで配信しています。



緊急時は垂直避難 逃げ遅れた場合、近くの丈夫な建物の3階以上へ避難



警報が解除されるまで  
安全な場所で待機

基本は水平避難 津波浸水想定区域の外へ、徒歩で移動

津波・大津波警報の発表

# 災害を知ろう

## 地震・津波

巨大地震直後は、津波の情報も確認

大津波・津波警報が発表されたら、津波浸水想定区域の外へ一旦避難を!

津波が発生するかどうかで避難行動が変わります! 正確な最新の情報を確認しよう!



明日かもしれない、南海トラフ巨大地震

今後30年以内にマグニチュード8以上の地震が高い確率で発生するとされています。

予想される神戸市内の震度  
最大震度 6強  
全域の震度 5強以上

高さ1m以上の津波到達までの時間は  
最速で約80分と  
予想されています。



安全・安心の津波対策

南海トラフ巨大地震に伴う最大クラスの津波への対策は完了しています。



## ため池の決壊

ため池は、大雨や地震により決壊する恐れがあります。万が一決壊すると、下流の家屋や公共施設等に被害を及ぼす恐れのあるため池を「特定ため池」として指定しています。自宅付近の特定ため池の場所を把握しておきましょう。

特定ため池マップ

万一決壊した時の浸水想定範囲も確認できます。



日頃から、不用意にため池には近づかないようにしましょう!



## 高潮による浸水

台風など、発達した低気圧が近づくと海面水位が異常に高くなる可能性があります。沿岸部の状況は、神戸港防災ポータルサイトで確認できます。



神戸港防災ポータルサイト

沿岸の現況映像や防潮鉄扉の開閉状況をリアルタイムで配信。



高潮に備える防潮堤

過去最大級の台風による高潮への対策は完了しています。

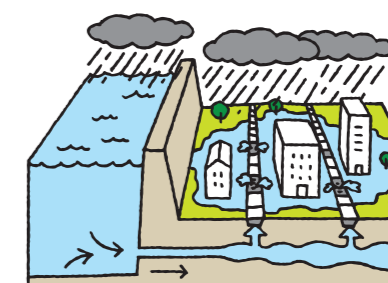
台風の時は、海岸付近には近づかないようにしましょう。



## 内水はん濫

大雨が降った時に、海や川に雨水を排水することができず、道路側溝やマンホールから雨水が噴き出して、浸水することです。

浸水対策(内水はん濫)



浸水しているところには、近づかないようにしましょう。

